

# 木津川市教育委員会会議録

令和4年第9回木津川市教育委員会定例会

○日 時：令和4年9月26日（月） 午後2時から午後3時4分まで

○場 所：木津川市役所4階 4-4会議室

○出席者：森永重治教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、高橋史代委員、佐脇貞憲委員  
（事務局）竹本教育部長、大村理事、吉村理事、吉岡教育部次長兼こども宝課長、平井学校教育課長

## 1. 開 会 教育長 教育長あいさつ

安倍元総理大臣の国葬の対応については9月9日に各教育委員と協議し、岸田総理大臣の意見表明の趣旨を受けて、学校に対し半旗や弔意など求めないことを確認したが、その旨学校に通知したことを報告。

## 2. 前回会議録の承認

事務局から申し出があり、同発言中「内閣府の外局になる」は誤りであるため、「こども家庭庁の附属機関になると考えられる」と訂正。

教育長から事務局へ修正を指示し、委員から異議なく承認された。

## 3. 議 事

《議案第25号 木津川市外国語指導助手の服務等に関する規則の一部改正について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

令和4年10月1日付の人事院規則の一部改正に伴い所要の改正を行う。内容は育児参加休暇の取得期間の拡大。併せて、特別休暇についての規定を他の木津川市会計年度任用職員と同じ条文を使用するよう改正するもの。

### 【質疑応答】

教育長：現在の勤務者に直接的な影響はないのか。

事務局：ない。

委 員：関連して、介護休暇は遠方の場合、往復日数は別に特別休暇日数が加算されるの

か。

事務局：されない。休暇日数が定められており、その範囲内での取得になる。

教育長：忌引き休暇には加算があったと思うが。

事務局：忌引き休暇については、遠方の場合、その往復に必要な日数が加算される。

#### 【採決】

教育長が議案第25号について採決を行い、全員一致で可決された。

#### 4. 教育長報告（令和4年9月1日～令和4年9月26日）

教育長が、事業報告に基づき報告を行った。中でも次の点について、説明があった。

- ・9月14日 教員の加配要望、恭仁宮跡について京都府教育委員会へ要望した。
- ・9月23日 木津布団御輿の水引幕が70年ぶりに新調された。伝統的な綴れ織りを用いている。

#### 5. その他

##### (1) 今後の行事予定

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

##### (2) 令和4年第3回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について、事務局が資料に基づき報告を行った。

##### 〔説明〕

通告のあった一般質問11名40問について、質問内容及び答弁について説明。

#### 【質疑応答】

委員：働き方改革のため市費で支援員を配置しているとのことだが、以前は府費でスクールサポートスタッフが配置されていたのではないのか。名称が変更になったのか。

事務局：今年度から教員業務支援員に変更になった。府費でも全校に週16時間の配置は継続されている。大規模校の梅美台小、城山台小に市費で追加配置している。

教育長：コロナ対策の消毒などを主にしていたスクールサポートスタッフ（教育業務支援員）だが、コロナ収束後も措置されるよう要望している。この教員業務支援員と小学校の専科教員の配置が、教員の働き方改革に大いに役立っている。

委員：専科教員の配置はどうなっているのか。

事務局：英語は全小学校で導入している。その他、社会、理科、体育、音楽、書写など導入している学校もある。

委員：配置は学校の要望によるものか。

事務局：学校と相談しながら府の枠内で配置している。

教育長：来年度の国の方針としては、英語、体育、理科、算数を優先教科としている。

委員：専科の指導者は少ないのではないかと思うが、どの程度入っているのか。

事務局：英語は全校5，6年生を専科教員が指導しており、3，4年生の指導を追加している学校もある。高学年の音楽、社会、体育では学校を掛け持ちして指導している例もある。

委員：小学校及び中学校の在り方検討委員会の今後のスケジュールは、

事務局：10月14日に第7回の検討委員会を開催し、中間案をまとめる。その案を31日の教育委員会、11月初旬の政策会議で諮り、その後パブリックコメントの期間を1か月とする。1月から2月頃の政策会議、教育委員会でパブリックコメントの回答をまとめる。2月、第8回の検討委員会でパブリックコメントの回答を確認、答申を出していただく。その答申を受けて計画を策定するのが3月末ごろとなる予定。

委員：働き方改革の成果として、令和3年度の時間外勤務は前年より減少しているのか。産業医として関わっている府立学校では1か月10時間程度は削減されていたが。

事務局：令和2年度から3年度にかけては減少している。平成30年度から見ると、年々減少傾向にある。

委員：平成30年度と比べてどの程度減少しているか。

事務局：20時間程度減少している。

教育長：80時間を超える者は減少している。

委員：他の自治体では、減少している人もいるが、業務上朝早く出勤したり、遅くまで学校にいる職員が各校に2～3人いて、なかなか60時間を下回らない。

教育長：時間外が多い職員には校長から指導している。現在はコロナ対応もあるが、コロナのために何でも削るというのではなく、子どもに関係しないところで削るべき業務がないか見直す良い機会だと思う。

(3) 次回教育委員会は、令和4年10月31日（月）午前9時30分に開催予定とすることを確認した。

教育長が、会議を閉会した。